



JANIS 通信

増刊号

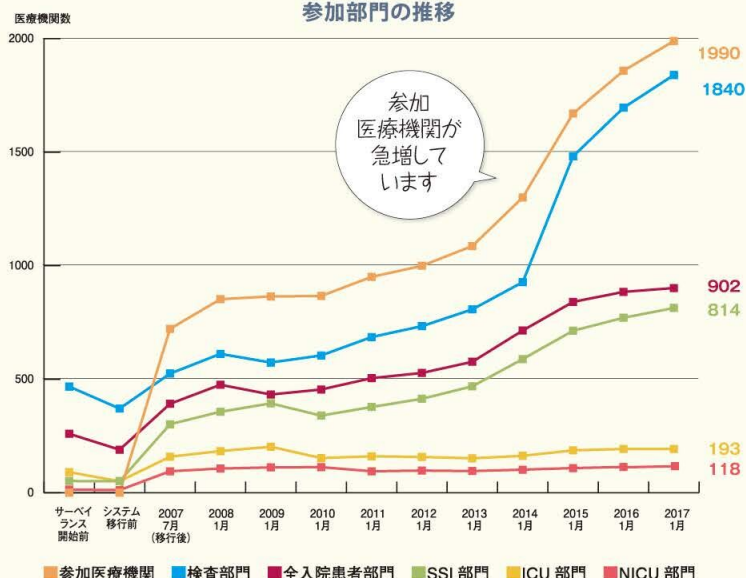
JANIS (JAPAN NOSOCOMIAL INFECTIONS SURVEILLANCE) NEWSLETTER

●JANISって何?

院内感染対策サーベイランス(JANIS:ジャニス)は、2000年7月よりスタートした厚生労働省の事業です。院内感染対策に有用な情報の提供を行うことを目的としており、医療機関ごとに「薬剤耐性菌の分離率」や「院内感染の発症率」に関するデータを収集しています。下記の5部門があり、2017年には全体で参加医療機関数が約2,000となり、名実ともに日本を代表するサーベイランスとなっています。



参加部門の推移



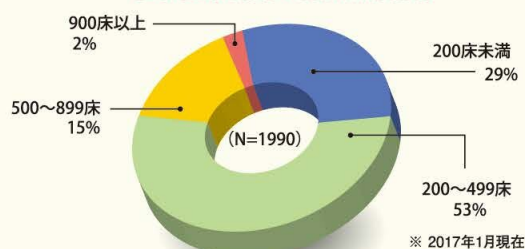
●どんな医療機関が参加しているの?



JANISに参加している医療機関の53%が、200~499床の中規模病院であり、全国的にも約半数参加していることになります。一方、500床以上の大規模病院は、全国的に約8割の参加率となっています。また、特定機能病院、地域医療支援病院の参加率が高いことも特徴の一つです。

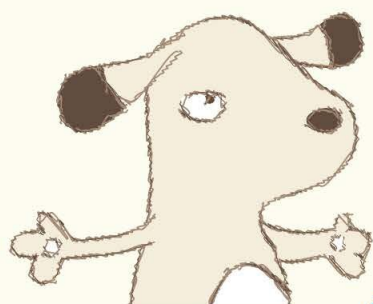
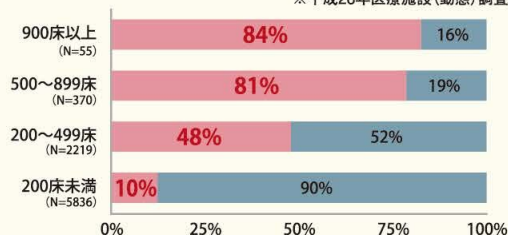
「やはりそれなりの規模の病院ばかりでは」と思われがちですが、2014年以降200床未満の医療機関の参加も積極的に呼びかけています。

参加医療機関の病床数別割合



病床数別JANIS参加・非参加医療機関の割合

※平成26年医療施設(動態)調査を参照



200床未満の医療機関も参加募集中です



院内感染対策サーベイランス(JANIS)事務局

<https://janis.mhlw.go.jp/>

●JANISに参加するとどんなメリットがあるの？



①還元情報が作成される

各部門ごとに月報、四半期報、半期報、年報を作成し、参加医療機関に還元されます。還元情報は全部門でPDFが作成され、自施設データの集計・解析結果をそのまま感染対策委員会などで活用できるようになっています。また、検査部門・全入院患者部門・SSI部門ではCSVやExcel形式でも還元していますので、表計算ソフトやデータベースソフトに読み込んで、独自の表やグラフを作成することもできます(表1)。

	PDF	CSV・EXCEL
検査部門	月報 四半期報 年報	年報
全入院患者部門	月報	年報
SSI部門		半期報 年報
ICU部門		半期報 年報
NICU部門		年報

表1:各部門の還元情報

②全参加医療機関とデータの比較ができる

還元情報では、全参加医療機関における分離率や発生率の中央値や最大値、最小値などを「箱ひげ図」を用いて示しています。自施設の分離率を「箱ひげ図」内に赤い点「●」で示すことにより、自施設が全参加医療機関の中でどのような位置にあるかを確認できます(図1)。

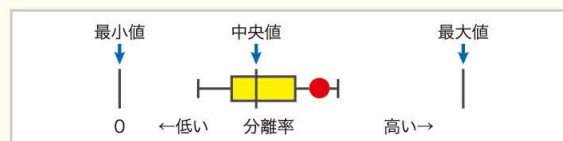


図1:箱ひげ図

③自施設のアンチバイオグラムがわかる

検査部門では、2012年還元情報年報より、自施設のアンチバイオグラムが分かりやすく表示されるようになりました(図2)。全参加医療機関の集計データである公開情報と同じ形式なので、全国データと比べることも可能です。2015年年報からは都道府県別のデータも作成しています。

④同じ「ものさし」で他の施設と比較ができる

感染防止対策加算の施設基準では、「地域や全国のサーベイランスに参加していることが望ましい」と明記されています。自施設のデータを他施設と比べる際に、お互いにJANISに参加していれば、統一した「ものさし」で比較することが可能となります。地域ごとに連携し、各施設のデータを持ち寄ることで地域としての特性や対策を見出すこともできるようになります。



還元情報を
院内感染対策に
活用しよう!

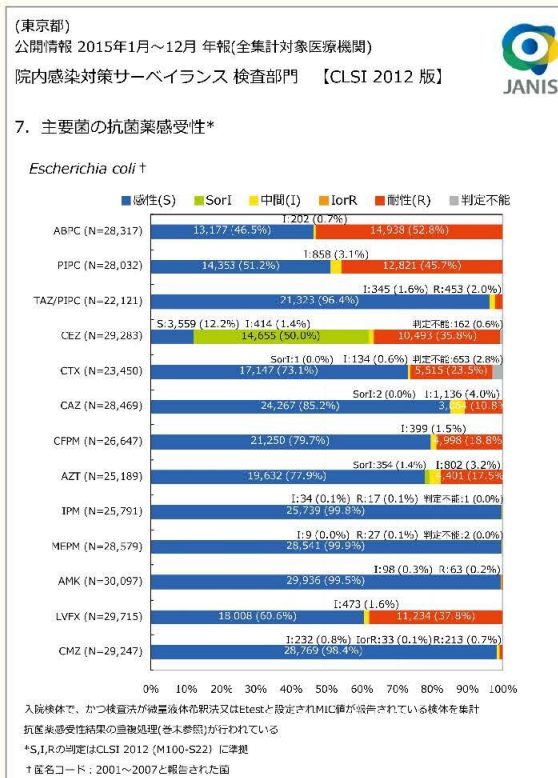
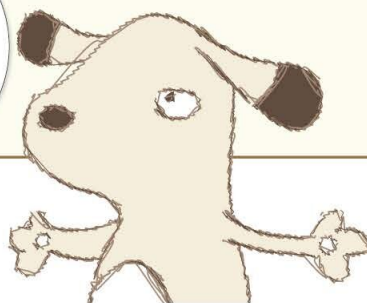


図2:アンチバイオグラムの例

●どの部門に参加しよう？

まず、各部門の目的を紹介します。

一部門
からの
参加も
できます！



検査部門

主要な菌や薬剤耐性菌の分離状況を明らかにする。

全入院患者部門

主要な薬剤耐性菌の感染症の発生率を把握する。

SSI部門

選定した手術手技におけるSSI発生率を把握する。

ICU部門

ICU内の人工呼吸器関連肺炎、カテーテル関連血流感染症、尿路感染症の発生率を把握する。

NICU部門

NICU内の院内感染症の発生率と原因菌を把握する。

部門ごとに参加要件が異なりますので、各施設の体制やニーズに合わせて、参加するサーベイランスを選択してください。

検査部門

細菌検査システムから抽出したデータを、JANIS提出用の共通フォーマットに変換し、web送信します。共通フォーマットに変換できるかどうか、検査システムの担当者にご相談ください。外注検査データでも、共通フォーマットに変換できれば参加可能です。

全入院患者部門

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)など、7種類の薬剤耐性菌検出者について、判定基準に基づいて感染症の診断を行います。入院患者数および薬剤耐性菌感染症患者のデータは、入力支援ソフトに入力し、web送信します。

SSI部門

選定した手術手技の全症例について、判定基準に基づいてSSIの診断を行います。手術情報およびSSIのデータは、入力支援ソフトに入力し、web送信します。他のSSIソフトを用いたり、電子カルテからデータを抽出している参加医療機関もあります。

NICU部門

全NICU入室患者について、判定基準に基づいて院内感染症の診断を行います。全入室患者の出生体重別人数および感染症のデータは、サーベイランスシートを用いて管理し、web上で入力後、送信します。

ICU部門

熱傷患者以外の全ICU入室患者について、判定基準に基づいて上記3種類の院内感染症の診断を行います。全入室患者の基本情報および感染症のデータは、入力支援ソフトに入力し、web送信します(デバイス日のデータは収集していません。)

JANISのホームページ「各部門について」から各種ファイルをダウンロードできます。



●JANISに参加するには、何から始めればいいのか？



JANISへの参加を決めたら、まずは何をすればよいのでしょうか。
ここでは、実際にサーベイランスを始めるまでの準備期間に、
何をすべきかをご説明します。

新規参加する医療機関のすべきこと

サーベイランス
体制を整える

①まずは病院長へ確認を

②責任者・担当者を決めます

③パソコン環境を整えます

JANISへの
参加申し込み

④「JANIS説明会」への参加

⑤JANISへの参加登録

参加医療機関
の一員へ

⑥データ収集開始

ご不明な点などありましたら、JANISのホームページの
「よくあるご質問」をご確認いただいた後、
「お問い合わせ」からご質問ください。

準備についての詳細は、JANISのホームページ「参
加・脱退について」から「新規参加医療機関用チェッ
クリスト」をダウンロードできます。

まずは、病院長がJANISへの参加を了承していなくてははいけません。参加後は、年に1回病院長宛に、データ提出状況一覧が送付されます。

次に責任者を決めます。あわせて継続的に担当できるスタッフの確保が必要になります。

JANISのホームページにアクセスできるパソコンを用意しましょう。サーベイランスデータをweb送信するために、インターネットへ接続する必要があります。また、責任者・担当者はメールアドレスを必ずご用意ください。JANIS事務局との連絡に使用します。

毎年夏頃に行われる「JANISのデータ提出・活用のための説明会」について都道府県より病院長宛に連絡があります。JANISのホームページでもアナウンスされます。こちらでは参加方法についてより詳しく説明が行われますので、是非ご参加ください！

JANISのホームページから参加申し込みをし、各都道府県宛に郵送します（※自治体によって申し込みメ切りが異なります）。12月中に病院長宛に、参加医療機関専用サイトのログイン情報通知書が送付されます。

これでもう、あなたも立派なJANISの一員です。**翌年1月1日からのデータを収集**し、提出しましょう。

「JANIS
説明会」で
お待ちしております！

